



第33回 420級全日本選手権大会テストイベント  
The 33rd 420 class All Japan Championship Test Event  
レーザーラジアル 中部オープン選手権大会  
Laser Radial Chubu Open Championship

日程 2020年10月31日(土) - 11月1日(日)  
主催 愛知県ヨット連盟  
開催地 愛知県蒲郡市海陽町 1-7 豊田自動織機 海陽ヨットハーバー

**帆走指示書**  
**Rev 1. as 2020.10.10**

「NP」艇からの抗議の根拠とはならない。これは規則60.1(a)を変更している。  
「SP」レース委員会、またはテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティを適用することができる規則を意味する。  
これは規則63.1及びA5を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティが決定される。

### 1. 規則

- 1.1 本レガッタには、『セーリング競技規則』(以下、規則という)に定義された"規則"が適用される。
- 1.2 付則Pを適用する。
- 1.3 付則Tを適用する。

### 2. 競技者への通告

競技者への通告は、レガッタ・オフィス東側に設置された公式掲示板に掲示する。  
また大会公式ホームページに掲示される。ただし、webサイトへの掲示不備については、艇からの救済の根拠とはならない。  
これは規則60.1(b)を変更している。

### 3. 帆走指示書の変更

帆走指示書(以下、指示という)の変更は、それが発効する当日の9:00までに掲示する。  
ただし、11月1日のレース日程変更は、10月31日18:00までに掲示する。

### 4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、レガッタ・オフィス南側の信号柱に掲揚する。
- 4.2 [DP] [NP] 音響1声と共に掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗の掲揚30分以降に発せられる。」を意味する。  
艇は、この信号が発せられるまでハーバーを離れてはならない。

### 5. レース日程

- 5.1 レース日程

10月31日(土)	09:00-09:30	大会受付. 登録
各5レースを計画	09:30	ブリーフィング
	10:40	最初のクラスの第1レース予告信号予定時刻
11月1日(日)	09:00	ブリーフィング
各3レースを計画	10:00	その日の最初のクラスの予告信号予定時刻
	16:00	閉会式
- 5.2 各日の最初のレーザーラジアルクラスの予告信号は420クラスのスタート信号後適宜発せられる。
- 5.3 各日とも、その日の最初のレース終了後、引き続き次のレースを実施する。
- 5.4 各クラスとも8レースを予定している。  
大会が成立するには4レースを完了させることが必要である。
- 5.5 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する少なくとも5分前に、音響1声とともにオレンジ色の「スタートライン旗」掲揚する。
- 5.6 11月1日は、14:30を越えて予告信号が発せられることはない。

### 6. ビブスの着用

11月2日、前日の暫定順位1位から3位までの選手は、大会から貸与されるビブスを出艇から帰着までライフジャケットの上に着用しなければならない。  
ビブスはレガッタ・オフィスで貸与され、帰着後にレガッタ・オフィスに返却しなければならない。

## 7. クラス旗

420クラス	白地に水色字の420の形象
レーザーラジアルクラス	緑色地に赤色のレーザー級の形象

## 8. レース・エリア

添付図Aにレース・エリアの位置を示す。

## 9. コース

- 添付図Bの見取り図は、レグの間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 予告信号以前に、レース委員会信号艇に帆走すべきコース、及び最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 艇が4レグを消化する以前でのコース短縮は行わない。

## 10. マーク

- マーク1, 2, 3p, 4p, 4sは、黒色数字入りのオレンジ色円筒形ブイとする。
- スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇と、ポートの端にあるレース委員会艇とする。
- フィニッシュ・マークは、スターボードの端にあるレース委員会艇と、ポートの端にある黄色の円筒形ブイとする。
- 指示11.1に規定する新しいマークは、黒色数字入りの蛍光黄色円筒形ブイとする。

## 11. スタート

- レースは、規則26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前とし、スタートさせる。
- スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ色のスタートライン旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるスタート・マーク上にオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚しているポールの間とする。
- 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・ラインの概ね100m以内のスタート・エリアを回避しなければならない。
- スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』と記録される。  
これは規則A4を変更している。
- その日の最終レースを除き、前のレースでOCS, UFDまたはBFDと記録された艇のセール番号を、次のレースの予告信号以前にスタート信号艇に掲示する。

## 12. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。

その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 13. タイム・リミットとレースのターゲット・タイム

- タイム・リミットとレースのターゲット・タイムは、次のとおりとする。

	レースの タイム・リミット	マーク1の タイム・リミット	フィニッシュ ウィンドウ	レースの ターゲット・タイム
420	70分	25分	10分	45分
レーザーラジアル	70分	25分	10分	45分

- マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースを中止する。
- ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。
- 規則30.3、規則30.4が適用された場合、その規則に違反しなかった最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後に定められるフィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった: DNF」と記録される。  
これは、規則35、A4、A5を変更している。

## 14. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるフィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端の黄色円筒形のフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

## 15. レース後ペナルティ

- 規則T1 (c)の、『レース後ペナルティ』を履行する文書は、大会webサイト、またはレガッタ・オフィスにて入手できる。
- 『レース後ペナルティ』を履行した艇は、ARBと記録される。これは規則A11を変更している。

## 16. 抗議と救済の要求

- 16.1 規則61.1(a)の2番目の文を以下と置き換える。  
「その抗議がレース・エリアで関与したか、または目撃したインシデントに関わる場合、艇は最初の妥当な機会に目立つように"赤色旗"を掲揚しなければならない。
- 16.2 抗議書は、大会webサイトまたは、レガッタ・オフィスにて入手できる。  
抗議および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレガッタ・オフィスに提出されなければならない。
- 16.3 抗議締切時刻は、その日の最後のクラスの最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。
- 16.4 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後20分以内に通告を掲示する。審問はプロテスト・ルームにて、概ね受付順に始められる。
- 16.5 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、規則61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 16.6 規則42違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。

## 17. 得点

- 5レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。
- 5レース以上完了した場合、艇のシリーズ得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

## 18. 安全規定

- 18.1 出艇申告、帰着申告およびリタイヤ申告は、Google フォームを活用した、web 方式を採用する。  
操作方法は大会HPを参照すること。
- 18.2 「NP」「SP」各艇は、各日とも08:00から出艇前までに、Google フォームを活用して出艇申告を行わなければならない。
- 18.3 「NP」「SP」帰着した艇は、帰着後速やかに、Google フォームを活用して帰着申告を行わなければならない。  
その日の最終レース後の帰着申告締切時刻は、抗議締切時刻である。
- 18.4 レース委員会が危険と判断した場合、艇体放棄を含む強制救助を行う場合がある。  
強制救助に対しては、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。
- 18.5 マスト・トップに着脱可能な浮力体を取り付けても良い。
- 18.6 「NP」「SP」レースからリタイヤする艇は、可能ならばレース委員会艇、またはプロテスト委員会艇に伝えなければならない。  
リタイヤした艇は、速やかにGoogle フォームを活用してリタイヤ申告を行わなければならない。

## 19. 装備の交換「NP」「SP」

- 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。  
交換の要請は、最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

## 20. 乗員の交替「NP」「SP」

- 20.1 420級のヘルムスマンの交替を行う場合、レース委員会を納得させる合理的な理由がなければならない。  
体調不良は、合理的な理由に該当する。
- 20.2 乗員の交替要請は、最初の妥当な機会にレース委員会に対して行わなければならない。

## 21. ごみの処分

- ごみは、コーチボートまたは大会運営艇に渡してもよい。

## 22. 賞

- 各種目とも1位から3位までに賞が授与される。  
その他、主催団体より特別賞を授与する場合がある。

## 23. 責任の否認

- このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。  
主催団体は、このレガッタの前後、期間中に生じた物理的な損傷または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任を負わない。

## 24. その他「DP」「NP」

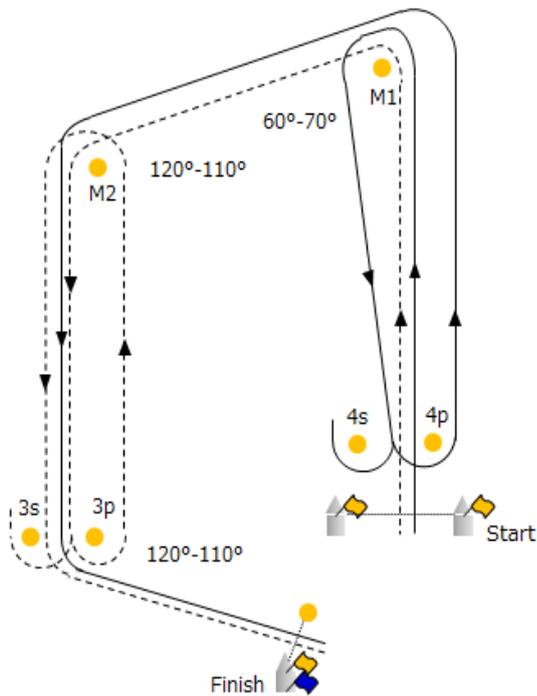
- 選手、支援者は、競技役員および施設管理職員の合理的な指示に従わなければならない。

【添付A】



N34.47.183 E137.16.017 を中心としたΦ1.4Nmを「レース・エリア」とする。

【添付B】



コースO : 破線

スタート → M1 → M2 → 3p/3s → M2  
→ 3p → フィニッシュ

コースI : 実線

スタート → M1 → 4p/4s → M1 → M2  
→ 3p → フィニッシュ

潮汐表

10月31日 (土) 大潮		11月1日 (日) 大潮	
月齢 14.1		月齢 15.1	
日の出 06:10	日の入 16:59	日の出 06:11	日の入 16:58
満潮	干潮	満潮	干潮
05:48	11:39	06:18	12:07
219cm	66cm	222cm	71cm
17:34	-	17:55	-
223cm	-	223cm	-